

よりよい名草小学校をめざしてのアンケート結果より

本年度も11月に、全校児童と保護者、教職員を対象に、無記名のアンケート調査を行いました。昨年度から「命の大切さ　社会のルールを教えてもらっている」という内容を低学年に加え、全校が同じ内容で実施しました。評価項目の表現は、低学年用（上段）と中・高学年用（下段）の2種類にしました。項目5は、同じ表現です。集計は、低学年（1・2年生）・中学年（3・4年生）・高学年（5・6年生）と3分割にしました。

【児童】 4とてもそう思う 3まあそう思う 2あまりそう思わない 1思わない (単位%)

	評価項目		4	3	2	1
1	がっこうが　たのしい 学校が　楽しい	低	86.7	9.6	3.0	0.7
		中	50.9	40.3	5.0	3.8
		高	54.5	37.1	6.3	2.1
2	ともだちと　なかよくしている 友だちと　なかよくしている	低	55.6	42.2	2.2	0
		中	68.6	25.8	3.8	1.8
		高	65.7	30.1	2.8	1.4
3	まいにちの　べんきょうが　わかる 毎日の　勉強が　わかる	低	52.6	34.1	11.1	2.2
		中	37.7	42.1	14.5	5.7
		高	39.9	49.7	8.4	2.0
4	だれにでも　あいさつが　できる だれにでも　気持ちのよいあいさつが　できる	低	66.7	20.7	11.1	1.5
		中	32.1	43.3	16.4	8.2
		高	33.6	51.0	12.6	2.8
5	そうじを　いっしょにけんめい　している	低	78.5	10.4	9.6	1.5
		中	61.6	28.9	7.0	2.5
		高	43.4	51.0	3.5	2.1
6	いのちのたいせつさや　いろいろなばしょでの　きまりを おしえてもらっている いのちの大切さや　社会のきまりを　教えてもらっている	低	77.0	17.1	5.9	0
		中	65.4	21.4	6.3	6.9
		高	49.7	37.8	9.8	2.7
7	いえのひとに　がっこうのことを　よくはなす かぞくに　学校のできごとを　よく話す	低	48.9	31.9	13.3	5.9
		中	47.2	28.3	11.9	12.6
		高	45.5	32.2	14.0	8.3
8	きゅうしょくのじかんが　たのしみだ 給食の時間が　楽しみだ	低	45.9	30.4	14.1	9.6
		中	69.2	17.0	6.3	7.5
		高	52.4	35.7	6.3	5.6
9	がっこうは　きれいで　つかいややすい 学校は　美しく整っていて　過ごしやすく　使いやすい	低	43.7	40.0	11.1	5.2
		中	32.1	40.3	17.6	10.0
		高	18.9	46.2	25.2	9.7

4段階評価の児童アンケートは、4とてもそう思う　3まあそう思う　を肯定的評価、2あまりそう思わない　1思わない　を否定的評価と表現します。

1 「学校が楽しい」、2 「友だちとなかよくしている」の項目では、どの学年も肯定的な回答が90%以上あります。一方、1では中学年・高学年の否定的な回答が8%を超えてます。3 「毎日の勉強が

わかる」で、中学年の 20%が否定的な回答であることから、学習の理解が学校の楽しさに関わる大きな要素であると受け止めます。学校は、学習の基礎基本を確実に身に付け、「学ぶことが楽しい」と思える授業が提供できるよう一層研修を重ね、全ての児童の学力が保障できるよう指導方法の工夫改善に努めてまいります。

5 「掃除を一生懸命している」は、昨年よりも肯定的な回答が増えています。朝の職員打合せの時刻を早めたことで、教職員が児童と一緒に掃除する時間が十分確保できました。本校の良き伝統の一つとして継続できるよう努めます。

6 「命の大切さ社会のきまりについて教えてもらっている」は、毎年、教師の児童との意識のズレを感じます。生活に生かせる道徳の指導を進めていますが、否定的な回答が 10%を超えていることから、再度指導の見直しを行います。

7 「給食が楽しみ」は、家庭の食事との違いが回答に表れているように思われます。地産地消の食材を取り入れ、食育の指導と合わせて児童の食生活が少しでも豊かになるよう工夫しています。学年が上がるにつれて肯定的な回答が増えるのは、その結果だと受け止めています。

9 「学校が美しく使いやすい」は、例年肯定的な回答が低い項目です。施設・設備等少しづつ改善しています。

4 「気持ちのよい挨拶ができる」は、地域の方々への広がりをもたせたいと願っています。

7 「家族に学校の出来事を話す」は、学校として話題が豊かになるような手立てを工夫いたします。

【保護者】 児童アンケートに 1 わからない を加えた 5 段階評価です。 (単位%)

評価項目		5	4	3	2	1
1	学校は、教育活動や子供の様子を、保護者に分かりやすく伝えている	低	8.5	64.2	17.0	4.7
		中	4.8	59.9	29.1	3.1
		高	10.7	60.4	27.3	1.0
2	学校は、子供に分かりやすい授業を工夫している	低	12.3	60.4	16.0	1.9
		中	12.6	57.5	18.1	2.4
		高	11.9	59.7	17.9	2.3
3	学校は、子供の安全確保・健康管理のための取り組みを十分行っている	低	14.2	65.1	14.2	0.8
		中	13.4	61.4	16.5	2.4
		高	15.1	66.7	12.2	1.6
4	学校は、いじめをなくす学校・学級づくりに取り組んでいる	低	8.5	42.5	24.4	5.7
		中	4.7	48.9	24.4	6.3
		高	10.1	49.7	21.3	5.7
5	子供一人一人が大切にされ、認められる学校になっている	低	10.4	50.9	17.0	7.5
		中	4.7	50.5	22.0	7.1
		高	8.8	58.5	20.1	2.5
6	学校は、子供に生命を大切にする心や、社会のルールを守る態度を教育している	低	10.4	60.4	16.0	0
		中	7.1	69.5	9.2	2.4
		高	11.3	59.1	17.2	1.1
7	家庭・地域は、学校に対してそれぞれの役割を果た	低	16.1	63.2	11.3	0.9
						8.5

	し、連携・協力している	中	14.2	61.4	14.2	3.9	6.3
		高	16.4	59.7	18.2	0	5.7
8	学校施設は、教育的配慮がなされ、美しく使いやすい	低	8.5	44.3	31.1	10.4	5.7
		中	4.7	45.7	29.1	18.1	2.4
		高	6.9	38.4	34.6	17.6	2.5
9	毎日楽しそうに登校している	低	45.3	43.4	9.4	0	1.9
		中	41.7	52.8	4.7	0.8	0
		高	44.1	49.7	6.2	0	0
10	学習内容がわかり、基礎的な学力が身に付いている	低	12.3	61.3	17.0	3.7	5.7
		中	12.6	63.8	19.7	3.9	0
		高	18	65.2	14.3	1.9	0.6
11	学校での出来事によく話す	低	26.4	50.0	19.9	2.8	0.9
		中	15.0	61.4	20.5	3.1	0
		高	26.7	46.6	22.4	4.3	0
12	誰にでもあいさつができる	低	6.6	50.0	34.0	4.7	4.7
		中	11.8	51.2	29.9	4.0	3.1
		高	23.6	47.2	21.1	5.6	2.5
13	給食の時間を楽しみにしている	低	47.1	34.9	12.3	3.8	1.9
		中	42.5	40.9	14.2	2.4	0
		高	34.8	48.4	13.0	1.9	1.9

児童と同様に、5とてもそう思う 4まあそう思う を肯定的評価、3あまりそう思わない 4思わない を否定的評価と表現します。

90.7%の回収率がありました。保護者の皆様のご協力に感謝いたしております。昨年度と同様に、肯定的評価が児童よりも低く出ています。

学校に対する評価で、わからない回答が10%を越えているのは、4「いじめをなくす取り組み」、5「一人一人が大切にされ、認められる学校」6「生命を大切にする心や、社会のルールを守る教育」の4項目でした。特に、項目4は、肯定的評価が低く、より積極的な取組が必要だと考えます。よりきめ細かく児童の生活に目を配り、いじめの実態把握と素早い対応ができるよう組織体制を整えます。3項目ともに、社会的にも喫緊の課題と考えています。児童の項目6の結果からも、学習が児童に分かりやすい工夫することの必要を強く感じます。

また、1「教育活動や子供の様子を、保護者に分かりやすくつなげている」は、否定的評価が中・高学年では30%前後であることを重く受け止めます。学校便りの内容を見直し、HPの更新により学校の情報発信に努めます。

2「分かりやすい授業の工夫」、10「学習が分かり、教育的な学力が身に付いている」は、否定的評価が20%前後あります。学校は、肯定的評価が最も高い9「楽しそうに登校している」が100%になることを目指しています。それには、項目2・項目10が肯定的評価を頂けることに強く関係することであり、授業力の向上に努めます。また、13「給食を楽しみにしている」も、9に関わりが大きく、食育の推進と合わせて、一層の充実に努めます。

5「施設の教育的配慮と整備」の肯定的評価が低いのは、建築年数にも関わると思われます。草花の

植え替えや修繕等で少しでも気持ちよく生活できるように、今後も改善していきます。

12 「誰にでも挨拶ができる」は、地域での安全確保につながることだと考えます。3 「子供の安全確保・健康管理」同様、肯定的評価を上げたい項目です。地域や家庭でも挨拶が習慣付くよう、一層取組むとともに、家庭にも積極的に協力を訴えていきます。

11 「学校のことをよく話す」は、子供の結果とよく似た評価です。学校から情報を発信することが、家庭での会話のきっかけになることを期待し、広報活動の充実に取り組みます。